

記者資料提供	
平成30年5月11日	
担 当	鳥取砂丘・ジオパーク推進課
連絡先	担当:漆原・小谷(内線 2501)

ゴールデンウィーク期間中の鳥取砂丘周辺の渋滞対策及び観光入込客数について

GW期間(9日間)中の入り込み客数は、179,400人。(前年比較:9,773人増)
1日あたりの入込客数は19,933人(前年比較:1,086人増)

(観光入込客数の内訳)

区 分 (期 間)	平成30年 4/28~5/6(9日間)	平成29年 4/29~5/7(9日間)	平成28年 4/29~5/8(10日間)
砂丘カウンター	72,108人 (8,012人/日)	72,260人 (8,028人/日)	84,584人 (8,458人/日)
砂丘リフト	26,576人 (2,953人/日)	22,528人 (2,503人/日)	23,581人 (2,358人/日)
鳥取砂丘こどもの国	24,870人 (2,763人/日)	23,805人 (2,645人/日)	25,217人 (2,521人/日)
砂丘ふれあい会館	2,059人 (229人/日)	2,119人 (235人/日)	2,626人 (262人/日)
サンドパルとっとり	10,757人 (1,195人/日)	5,272人 (585人/日)	4,534人 (453人/日)
砂の美術館	43,030人 (4,781人/日)	43,643人 (4,849人/日)	45,841人 (4,584人/日)
合 計	179,400人 (19,933人/日)	169,627人 (18,847人/日)	186,383人 (18,638人/日)

※赤字は今年増加したもの

【砂の美術館への入込について】

- 4月実施アンケートではリピーターの割合が増加し、新規入館者は減少傾向にある。一方、作品のクオリティは過去最高との意見も多い。
- 付属施設であるサンドパルとっとりは昨年比約2倍の入場者を記録し、売店の売り上げも1.2倍増と大きく改善(動線見直しや商品配置の工夫など、新たな指定管理者による販売ノウハウの活用による成果)。
- 新規入館者の増加に向けて、今後予定しているJR西日本のDCキャンペーンにおける山陽、東海道新幹線内でのPR、ゆめタウン会員向け会報誌を通じた中四国・九州地区での周知の強化、市民向けイベントの開発等を実施予定。
- 現在、日本ユニシスとアンケート結果についての詳細な分析を実施中であり、検証結果をふまえて他の指定管理施設で導入したノウハウの活用やDMOとの連携を図りながら更なる集客施策を立案し、入場者年間50万人の目標達成に向けた取り組みを強化する。

【概要及び対策】

○GW期間中の観光客入込状況は、179,400人で昨年より**9,773人増加**している。

○1日あたりの入込客数は**1,086人増加**となっており、観光客の動向は**回復傾向**にある。

○鳥取砂丘に訪れた観光客の滞在時間は、近年と比較しても短く、それに伴い駐車場の回転が良かったことで、覚寺バイパスを越え国道9号に影響を及ぼすほどの渋滞とはならなかった。

○岩戸臨時駐車場の開設

5/4～5/5にはオアシス広場臨時駐車場の許容量を越す車両が訪れたため、岩戸臨時駐車場を開設し、鳥取砂丘周辺道路の渋滞の解消に効果を上げた

岩戸駐車場収容台数 5/4：235台、5/5：223台

シャトルバス運行便数 5/4：40便、5/5：37便

○鳥取県、警察と連携し実施したきめ細やかな誘導

本市の誘導看板や交通誘導員の配置、シャトルバスの運行といった渋滞策事業に加え、県が設置したウェブカメラやホームページ（行きみちNAVI）や、VICSを活用しカーナビと連動した駐車場満空情報の提供などを実施したことも、渋滞緩和に貢献したと考えられる。